

学校教育目標：よりよく生きぬく釜っ子《よく考える子・たくましい子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO1

令和 6年 4月 8日(月)

4月 校長 山田 隆二

令和6年度が始まります

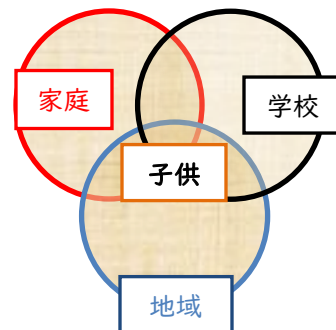
今年も釜戸小学校の子供たちは元気に健やかに成長してくれることを切に願っています。以下のように学校経営方針を作りました。保護者の皆様、地域の皆様と共有し、子供たちの成長のためにお力をお貸しください。

学校の教育目標 **よりよく生きぬく釜っ子**

少しだけ語尾を変えました。子供たちが覚え、親しみを込めて言えるよう「釜っ子」としました。

学校の教育目標を達成する重点（こんな子に育てます）

- ☆よく考える子
 - ・学習に限らず、よりよい方法を考える子
 - ・友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり、深めたり、変更したりする子
 - ・自分のめあてを達成しようと努力する子
- ☆たくましい子
 - ・体づくりをする子
 - ・自分や周りの人（仲間）の命を守ろうとする子
 - ・あきらめずに挑戦し続ける子
- ☆思いやる子
 - ・「ありがとう」を言葉や行動で伝える子
 - ・相手を「家族」と思って（想像して）接する子
 - ・ちがいを受け入れて歩みよる子



これらの重点を念頭に職員一丸となって子供たちに力を付けたいと思います。しかし、我々教職員だけでは、限界があります。どうか、子供たちを真ん中にして、学校・家庭・地域（コミスク）がそれぞれの役割を果たしながらよりよく釜っ子を育てていきたいと思っています。今年度もご支援賜りますようお願い申し上げます。

家で子供が話せるように

「思春期だから話したがない。」このことは否めませんが、学校であったこと（成功談も失敗談も。楽しかったことや、腹が立ったこと。地域の方にお世話になったこと等）何もない日などない！と言えるくらい子供たちは五感で感じとっています。夕飯の支度で忙しいとき、早く風呂に入れて寝かせなければならないとき、宿題をやらなくてはならないとき…子供たちが帰宅すると家族中忙しい毎日を送っていらっしゃると思います。そのうちの数分でよいのです。「今日ねえ…」と話しかけてきたら、顔を見てお子さんの話を聞いていただけるとよいです。今年度は、学校であったことを家で話そうという試みをしていきます。学校に登校する日は年間約200日。毎日、1分話を聞いていただいた時間の積み上げは、年間200分です。ぜひとも、顔を見て（ひとまずは否定せずに）聞いてあげてください。学校も「話したくなる〇〇」を意識して子供たちとともに生活していきます。

なお、お子さんの話から腑に落ちないことがあれば、できるだけ早くお問い合わせください。一つ一つ納得して進んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

☎63-2004